



—ふるさとながと・こんにちわ—

長門市駅からの旅立ち

海の見える、のどかな町へ、旅行をするのが好きで、線路沿いに、駅を見ると、長門市駅を思い出し、青い海を見ると、幼なじみと遊ん

だ事、学生時代の友、優しく人々を、思い出し、長門の風景と重なります。帰省するたび、温かく迎えてくれる人々と、楽しくひとときを過ごし、心なごむ「ながと」青い海と潮の香のする私の「ふるさと」へ又、帰ります。

小川勢津子 さん

おがわせつこ／昭和23年生／大阪府堺市在住／鍛冶屋町区出身／旧姓倭谷／主婦



▲昭和49年夏、長門市駅前で長女と

「市を退職した後、広域事務組合4年、市議8年、俵山農協組合長7年、今は、老人クラブ・公民館・お寺のお世話などしています。長男夫婦・孫と4人家族ですが、一丁余りの田は、長男にまかしているの、家の仕事はほとんどしません、長門市駅南に畑があり、その管理や、老人クラブ、お寺などの行事でほとんど毎日にいます」と、多忙な藤津さん。趣味についてお聞きすると、「碁、詩吟、旅行、マジックです。特にマジックは今も下関へ習いに出かけ、老人クラブの会には余興で演じた事もあります。旅行については、月に一度は県外に出かけます。動ける内は大いに、動きたい。山は長野県、紅葉は

「一病息災」

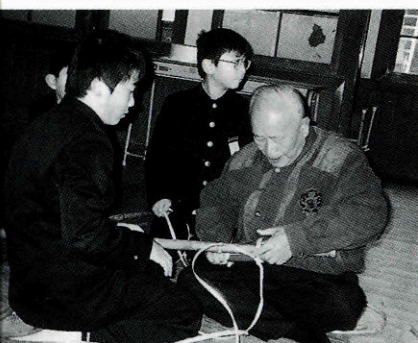
—建者です—



藤津幾治 さん

ふじついくじ／85歳／上政区

東北が良い」とのこと。好きな言葉は、「余りくよくよしない、どうせ、成るようになら成らない」とか。最後健康についてお聞きすると、「酒、タバコはやらないし、好き嫌いはない。ご飯は腹八分と心がけています。10年前から狭心症と医者から言われ、気を付けている事（一病息災）が、健康の秘訣となつていたのでしょう」と語られました。



▲俵山小で竹とんぼづくりの指導